

## リレー随筆

## やはりねこ…!! ねこはすべてを解決する…!!

| 鹿児島大学病院 研修医 | 田畑 佑樹

鹿児島市医師会報をご覧の皆様こんにちは。鹿児島大学病院初期研修1年目の田畑佑樹と申します。鹿児島市出身、谷山周辺で育ち、地域枠として鹿児島大学に入学しました。迫りくる試験、実習を無事乗り越えて今年の春から晴れて医師となり、現在まで楽しく充実した毎日を過ごしています。

たった半年しか経過していない研修生活ですが、いろいろな記憶が思い出されます。研修医になりたてのまだ4月というのに、上級医らが全員手術に入ってしまう、大きな手術の術後の患者さんや準緊急手術のオンコール入室待ちの患者さんを含めた20人余りの病棟患者さんを、術後合併症が起こっていないか、患者さんの症状が悪くなっていないかドキドキしながら1人で巡回した外科研修。指導医が外勤などで不在のタイミングに限って担当患者さんに急変が生じ、何度も冷や汗をかいた内科研修。指導医A、Bに「この患者さん数時間後に血ガス再検したほうが良いと思うのですが実施してよいでしょうか?」と聞いたところ不要だと言われ実施せずに迎えた翌朝、患者さんの状態が悪化していて、指導医Cに前日の対応についてその場にいた私だけが強く詰められた救急研修。次々と直面するトラブルや面倒ごとは医療のことだけには留まりません。初期研修医1年目であると同時に社会人1年目なので、必要な各書類手続きや、車など大きな買い物をしたり、服装や見た目にも気を遣うようになったりと、当たり前のことではありますが苦手なことが目白押しです。家庭面に関しても、祖母の認知症は少しずつ進んでいき、食生活が乱れて

きて、その介護などに時間を取られる母や私の疲れも溜まってきました。また交友関係に関しては、卒業、就職を契機に、あんなに一緒に遊びに行こうと約束していた友人の1人とも、連絡が取れなくなってしまいました。

仕方のないこと、理不尽なこと、当たり前のことも含めて社会人1年生、初期研修医1年目である私にとってはストレスが満載です。

そんなストレスフルな毎日をねこたちは癒してくれます。私はねこが好きです。彼らは無条件にかわいらしいだけではなく、ややツンデレなあの性格、素晴らしく柔軟な筋肉、時に機敏で時にゆったりまったりとした動き、すべての魅力を以てして私たちを癒してくれます。さて、前置きが長くなってしまいましたが単刀直入に言ってしまうと、この記事ではうちの子自慢をします。写真多めになっておりますので、ぜひうちの子と一緒に愛でてください。

ではうちの子たちを紹介していきましょう。1匹目はももかという名前で、おそらくヒマラヤンやシャムのような長毛種が少し混じった、白い毛に青い目をした女の子です。生後約5か月頃に保護猫の譲渡会で我が家に迎え入れ、今年で9歳になりました。愛称はももちゃんです。名前の由来は、私が母のお腹の中にいてまだ性別が判明していなかった頃に、当初は女の子だと思われていたらしく、百蘭（ももか）と名付けようと両親が考えていたそうです。そうして男の子が生まれてしまったのでももかという名前は封印されていましたが、ねこの名前として復活しまし



ももちゃん

た。ももちゃんは暖かい場所が好きなので、寒い季節になると南向きの私の部屋の窓辺でよく日光浴をします。その隣で自分も寝転がって一緒に昼寝をする時間の何と幸せなことか…。機嫌が良いときには自分の毛づくろいのついでに私たちの身体も毛づくろいしてくれるので、そんな日には日頃のストレスなどは一瞬にして立ち消えます。これからさらに寒くなってくる季節なので今年もももちゃんとひなたぼっこをするのが楽しみです。ももちゃんは普段はあまり猫じゃらしなどで遊ばない子ですが、時折近くを横切る私たちにちょっかいをかけてきます。しかもももちゃんはとても優しい子なので、爪をひっこめた状態でパフッと猫パンチをしてくる。皆様にもぜひ体験してほしいです。



おやつをもらえそうで嬉しそうなももちゃん

2匹目はみみという名前です。サバトラ柄、目は緑色の女の子です。おそらく親離れ直後くらいの時期に道路近くの崖で鳴きながらうろついていたところを母が発見し、そのまま保護する形で我が家に迎え入れられ、今年で8歳になりました。みみちゃんはかなりのビビリ気質で人見知りなので、知らない物音や人の気配がするとすぐに隠れていなくなります。現在私はたすき掛け研修中で病院近くの宿舎に住んでおり、土日のみ実家に帰るような生活をしているのですが、先週実家に帰った際にみみちゃんが私を知らない人だと勘違いして隠れてしまいました…。悲しみに暮れながらもその後ちゃんと私を私だと認識してもらえて、膝の上でのんびりし始めました…良かった…。私の心の傷が深くなることはありませんでした。あとみみちゃんはよくかまってポーズをします。私の目の前にわざとらしくゴロンと横になったり、手を伸ばして



みみちゃんと遊ぶとおもちゃは壊れ、私の手にはたくさんの擦過傷ができます



遊びが激しくなるとこうなります

きたりします。かといってあまり撫でようとすると、みみちゃんの場合は爪を出して猫パンチをしてくれます。まあ、かわいいのでそれもまた良しとします。



みみちゃんは私が ZOOM をしていると手でちょいちょいしてきます（実は爪が出てて痛い）

3 匹目の末っ子はちいという名前で、白黒のまだら柄、目は黄色の女の子です。この子は姉が近所を歩いていたところ、小さな子猫が鼻水びしょびしょで 1 匹で鳴いているところを発見し、私と姉と一緒に保護して我が家に迎え入れた女の子です。ちいちゃんは今年で 5 歳ですが、末っ子だからかまだやんちゃ盛りでよく私たちの目を盗んでは生けてある花を落としたり、隠していたはずのネズミの



ちいちゃん



ちいちゃんは頭を撫でられるのが大好きです

おもちゃを盗んでどこかにやったりしています。ちいちゃんは人に撫でられるのが好きで、撫でてほしいところを私の手にこすりつけてきます。とてもかわいいです。ちなみに 3 匹の中で一番人懐こい性格をしている…というよりは警戒心のカケラもない子なので、宅配便のお兄さんが来たとしても玄関に顔を見せに来ますし、見知らぬ人だろうが頭を撫でてこようものなら全力で甘えに来ます。

まだまだうちの子たちのかわいいところはたくさんありますが、あまり語り過ぎても良くないので今回はここまでとします。いかがでしょうか。うちの子たちの可愛さ、ひいては猫という存在そのものの尊さ、かわいらしさが何となく読者の方々に伝われば嬉しいです。あと最後に、皆様はどの子推しでしょうか。もし私とお話しする機会があったら、ぜひ直接教えていただけると嬉しいです。あるいは対抗しての皆様のうちの子自慢も、お待ちしております。拙い文章で恐縮ではございますが、最後まで読んでいただき、ありがとうございました。



サマーカットな 3 匹

次号は、鹿児島大学病院／宿里 正顕(しくり まさあき) 先生のご執筆です。 (編集委員会)